

# 事務事業説明シート

事業No. 7

①事務事業名	青少年健全育成団体への助成事業								
②所管課	こども・若者応援部 こども・若者応援課								
③ 施策の背景	事業の背景・目的	各団体の活動に対し助成金を交付することで、青少年の健全育成を推進する。							
	受益者	各青少年健全育成団体の構成員							
	目標 (アウトカム目標)	目 標	対象団体の活動による青少年の健全育成の推進			達成期限	平成30年度末		
	計画	後期実行計画		×	まち・ひと・しごと創生総合戦略		×		
④ 事業説明	事業の概要	青少年の健全育成を目的として活動している青少年健全育成団体の活動を支援するため、助成金を交付する。							
	事業内容 (具体的な手段・手法・業務)	青少年の健全育成を目的として活動している各団体への活動費の助成 ① 宇部市子ども会育成連絡協議会 市内の各校区子ども会育成連絡協議会の相互の連携を図り、青少年健全育成を目的として活動 ② 宇部海洋少年団 少年少女に対し海に親しむ機会を与え、団体生活を通して社会生活に必要な特性を養うことを目的として活動 ③ 宇部ときわ湖畔ユースホステル 宿泊事業、青少年育成事業等を実施、年間2,000人程度が利用							
⑤ 投入資源	事業費・人件費	事業費				人的資源 (参考: 正規職員1人/年≒804万円/年)			
		H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(見込)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(見込)
		1,672千円	1,567千円	1,545千円	1,627千円	正規0.5人/年	正規0.5人/年	正規0.5人/年	正規0.22人/年
⑥ 事業効果	アウトプット (活動実績):事業の実績を定量的に把握  アウトカム (活動成果):事業によりもたらされる効果を定量的に把握	アウトプット (活動実績)				アウトカム (活動成果)			
		指標: 助成団体数				指標: 参加者			
		H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(見込)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(見込)
		4団体	3団体	3団体	3団体	市子連参加者 900人 海洋少年団訓練 16回 1-スホステル利用者 2,576人 ｽｶｯﾄ協議会	市子連参加者 900人 海洋少年団訓練 18回 1-スホステル利用者 2,618人	市子連参加者 900人 海洋少年団訓練 17回 1-スホステル利用者 1,976人	市子連参加者 900人 海洋少年団訓練 17回 1-スホステル利用者 2,000人

⑦ 自己点検結果	A 必要性			B 有効性			C 効率性		
	A-1.事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか	A-2.民間団体等にゆだねることができないか (○:行政が行うべき、△:一部民間、×:民間で行うべき)	A-3.背景・目的・目標の達成手段として必要かつ適切な事業か	B-1.事業内容は背景・目的に即したものであるか	B-2.活動実績は活動成果に大きく貢献するものとなっているか	B-3.活動成果は目標達成に向け、計画どおり推移しているか	C-1.投入資 源に見合ったアウト プットを生み出せているか	C-2.事業手 法について、考えら れる他の手 法より、高 効率または 低コストか	C-3.その 他、コスト 削減や効率 化に向けて 適切に取り 組んでいる か
	A-1 ○	A-2 △	A-3 ○	B-1 ○	B-2 ○	B-3 ○	C-1 ○	C-2 ○	C-3 △
	評価基準								
A 必要性			B 有効性			C 効率性			
A-1 ○ 十分できている △ 一部できている × (あまり) できていない — 事業に該当しない評価項目 A-2 ○ 行政が行うべき事業である △ 一部民間にゆだねることができる × (基本的に) 民間にゆだねることができる A-3 ○ 必要かつ適切な業務である △ 必要ではあるが、事業の代替を検討すべき × 必ずしも必要とはいえない — 事業に該当しない評価項目			B-1 ○ 十分即している △ 一部即している × (あまり) 即していない — 事業に該当しない評価項目 B-2 ○ 実績は成果に大きく貢献する △ 貢献する × 若干貢献する、または(あまり)貢献しない — 事業に該当しない評価項目 B-3 ○ 計画どおり(計画値の100%以上) △ ほぼ計画どおり(計画値の80%~99%) × 計画どおりとは言えない(計画値の80%未満) — 事業に該当しない評価項目			C-1 ○ コストパフォーマンスは高い △ コストパフォーマンスは若干低い × コストパフォーマンスが低い — 事業に該当しない評価項目 C-2 ○ 他の手法より、高効率・低コスト △ (たぶん)高効率・低コスト × 高効率・低コストと言えない — 事業に該当しない評価項目 C-3 ○ 定期的にコスト削減・効率化に取り組んでいる △ 過去に取り組んだことがある × 取り組んだことはない			
見直しの方向性		より効率的・効果的な事業実施を目指して継続							
⑧ これからの見直し	各団体とも長年にわたり市の青少年健全育成のため活動を続けている団体であり、助成金を全て廃止することは各団体の活動に大きな影響を及ぼすことが予想される。過去にも、助成の内容や金額を見直ししている経緯があるが、今後はさらに詳細に活動状況を把握し、参加人数等の実態に応じた助成金額の決定を行う。								